

令和5年度 第2学年 社会科 年間指導計画

月	題材名	時数	目標	学習指導要領	観点別学習状況の評価規準 ①=知識・技能 ②=思考・判断・表現 ③=主体的に学習に取り組む態度	評価方法	「資質・能力」 「道徳との関連」等 各学校・教科で必要なもの
4月	【地理的分野】 第3部 第2章 日本の地域的特色	10	「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」に基づく地域区分を踏まえ、日本の国土の特色を大観させ、理解させる。	C(2)	①日本の「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」に関する特色を理解している。 ②日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ノート 発表 テスト	主体性 思考力 表現力
5月	第3部 第3章 1節 九州地方 ■：自然環境	5	九州地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。	C(3)①	①「■」を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 ②各地方において、■の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③各地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ノート 発表 テスト	主体性 思考力 表現力
	2節 中国・四国地方 ■：交通・通信	5	中国・四国地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。	C(3)④			
6月	3節 近畿地方 ■：環境保全	5	近畿地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。	C(3)⑤			
	4節 中部地方 ■：産業	5	中部地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。	C(3)③			
7月	第3部 第1章 身近な地域の調査	6	調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解させる。読図、目的に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けさせる。	C(1)	①調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。 ②地域調査において、対象場所の特徴に着目して、適切な主題や調査、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	レポート 発表	主体性 思考力 表現力
9月	第3部 第3章 5節 関東地方 ■：人口の集中	5	関東地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。	C(3)②	①「■」を中核とした考察の仕方を取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。 ②各地方において、■の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③各地方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ノート 発表 テスト	主体性 思考力 表現力
	6節 東北地方 ■：生活・文化	5	東北地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。	C(3)⑤			
	7節 北海道地方 ■：自然環境	5	北海道地方について、その地域的特色や地域の課題を理解させる。	C(3)①			
10月	第4部 地域の在り方	4	地域の実態や課題解決のための取り組みを理解させる。	C(4)	①地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。 ②地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地域的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	レポート 発表	主体性 思考力 表現力
11月	【歴史的分野】 第4章 1節 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	9	ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武將や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解させる。	B(3)ア(7) B(3)イ(7)	①ヨーロッパ人來航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武將や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解している。 ②交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的に着目して、事象を相互に関連付けるなどして、世界の動きと統一事業について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の動きと統一事業について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	ノート 発表 テスト	主体性 思考力 表現力
	2節 江戸幕府の成立と対外政策	8	江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解させる。	B(3)ア(4) B(3)イ(7)			
12月	3節 産業の発達と幕府政治の動き	9	・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解させる。 ・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解させる。	B(3)ア(7)イ B(3)イ(7)	①産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。 ②社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。 ③産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ④産業の発達と町人文化、幕府政治の展開について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	ノート 発表 テスト	主体性 思考力 表現力
1月	第5章 1節 欧米における近代化の進展	8	欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。	C(1)ア(7) C(1)イ(7)	①欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ②工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米における近代社会の成立について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ③欧米における近代社会の成立について、そこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	ノート 発表 テスト	主体性 思考力 表現力
2月	2節 欧米の進出と日本の開国	7	・アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解させる。 ・開国とその影響などを基に、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。	C(1)ア(7)イ C(1)イ(7)	①アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ②開国とその影響などを基に、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ③工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付け、アジア諸国の動き、明治維新について、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ④アジア諸国の動き、明治維新について、その課題を主体的に追究、解決しようとしている。	ノート 発表 テスト	主体性 思考力 表現力

3月	3節 明治維新	9 <ul style="list-style-type: none"> ・明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解させる。 ・議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解させる。 	C(1)ア(イ)(ウ) C(1)イ(ア)	<p>①明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことを理解している。</p> <p>①自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、議会政治が始まるとともに、我が国の国際的地位が向上したことを理解している。</p> <p>②明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>③明治維新と近代国家の形成、議会政治の始まりと国際社会との関わりについて、その課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	ノート 発表 テスト	主体性 思考力 表現力
----	---------	---	-------------------------	---	------------------	-------------------